

# 総務教育常任委員会資料

(平成29年3月6日)

【 件 名 】

- ・ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… 1
- ・ 平成28年度第4回鳥取県立博物館協議会の概要について（博物館）…………… 2
- ・ 鳥取県立美術館整備基本構想について（博物館）…………… 別冊

教 育 委 員 会



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成29年3月6日

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立米子東高等学校西校舎耐震改修工事(建築)	米子市勝田町	株式会社金田工務店	契約金額 142,884,000円を 148,321,800円 (5,437,800円 増額)に改める。	平成28年8月10日～ 平成29年3月10日 (変更なし)	平成29年2月24日 (第2回変更)	(変更理由) 屋上パラペット部モルタルが劣化していたため、補修の追加等を行う。

教 育 環 境 課

## 平成28年度第4回鳥取県立博物館協議会の概要について

平成29年3月6日  
博 物 館

博物館改修整備に係る基本構想案について審議するため、第4回鳥取県立博物館協議会を開催しましたので、その概要について下記のとおり報告します。

### 記

- 1 日 時 平成29年3月1日（水）午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 場 所 鳥取県立博物館 会議室
- 3 議 題 鳥取県立博物館改修基本構想について

#### 会議での主な意見

##### 《収集保管》

- ・収蔵庫の多層化で収蔵力アップ、また見せる収蔵を行うとあるが、そのことと現在の空調能力との整合性は考えているか。
  - 3階の美術品に使う収蔵庫には空調が整備されており、ここには空調管理が必要な刀剣等を保管する。見せる収蔵庫にはそこまでの管理は不要なものを保管する。なお、空調能力については老朽化改修の一環として、設備更新・能力強化も行う。
- ・見せる収蔵とはどのようなものか？また、二層化等による詰め込みで収蔵能力を増やすこととの整合性はどうか。
  - 館蔵資料は県民の財産なので、できる限り県民に見て貰えるようにすべきとの考えで見せる収蔵を考えた。これは、来館者は普段は中に入れないが、外のガラス窓から収蔵品が見えるというものなので、人の頻繁な出入り等により保管環境を損なうことはない。また、全ての収蔵庫をそのようにするものでもない。見せる収蔵庫は詰め込むと見難くなるから限度があるが、他は二層化しても大丈夫と思う。
- ・「見せる収蔵」では収蔵庫と展示室の違いがなくなる。外からガラス窓越しに見ても感動しない。ネットで収蔵資料のデータを公開することを優先すべき。
  - 閉鎖系の収蔵庫と展示室の中間的存在と言えるが、基本は収蔵庫との位置づけ。収蔵庫の中にある資料を外から見ってもらうもの。  
データベースの整備については事業計画にも記載しているし、今も力を入れている。  
一方で、バックヤードツアー等で実際の資料保存の現場が見たいとのニーズもあり、これに応えるのは別の話。
- ・収蔵庫の中をガラス越しにでも見れるのには興味がある。バックヤードツアーでもすごいと感じたので、是非やってほしい。ネットとは別に現地で見ること重要で、子ども達に感動を与えるはず。

## 《展示》

- ・融合展示とはどのようなものか。それを入れることで他の展示スペースが圧迫されはしないか。  
→融合展示の内容は前回説明したとおりだが、それ程大型のものは考えてない。その追加は自然展示室と歴史民俗展示室にまたがって行うし、自然の展示室の老朽化した展示設備を処分すればスペースも空くので、他が狭くなることはないと思う。
- ・東部地区では県博が美術部門を賄っていたが、米子市や倉吉市、日南町は自前で美術館を持っている。地元市町村が美術機能を補うことも考えるべき。  
→県博の美術部門が40年以上もあった重みを考慮すると、美術部門が中部地区に出ていく場合、急に鳥取市でと言っても難しいだろう。当面は県である程度対応すべきだと思う。

## 《教育普及》

- ・講堂を生物収蔵庫にするとあるが、そうなると講演会等は多目的スペースで行うのか。講堂の定員250名に対して、多目的スペースの100人以上では不足するのではないか。  
→多目的スペースの面積は260㎡あり、200人は入れると思う。現在の講堂は206㎡で、新たな多目的スペースは却って広くなる。「100人以上」というのは、標準的な利用規模を十分クリアできることを表したものの。
- ・多目的スペースで半日もパイプ椅子に座って講演等を聞くのは辛いので、講堂は残してほしい。  
→現在の講堂利用の頻度や規模から考えると難しい面はあるが、考えてみる。

## 《その他》

- ・新しい客層を招くためには、ベビールームなど子育て世代に優しい施設が必要。子どもの遊びの広場等もほしい。
- ・段差をなくす等、バリアフリー対応にも留意すべき。
- ・整備費はどれくらいかかりそうか。  
→今後、老朽改修と耐震改修を行う。以前に現状課題委員会で報告したが、老朽改修で10億、耐震化で14億。それに加えて必要になる改修経費は、今の案ではそれ程かからないと思う。後は展示改修にいくらかかるか。
- ・駐車場対策も検討すべき。  
→敷地の現状変更が規制されており、抜本的な対応は難しいが、検討はしておきたい。

## 今後の対応

- ・今回の意見等を踏まえて、今回提示した事業計画案等を見直し、次回協議会（3月末～4月上旬頃）で議論していただく。
- ・更に次回は、運営費や利用見込みの修正案の他、できれば改修経費の試算も提示し、運営体制（PFI等）についても検討していただきたい。

